人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン
まち・ひとつながる
熊本市まちづくりセンター通信 vol.5
熊本市各地域の「まちづくりセンター」の活動報告・イベント情報をお知らせします。


今年8月に行われた「山本塾子どもまつり」の様子。普段は経験できない野外体験に子どもたちも大喜び

植木まちづくりセンター（北区）

「植木寺子屋事業」に運営メンバーとして参加
地域住民や企業が〝先生〟に 子どもたちを育む場が始動

植木地域では、地元の〝達人〟が体験授業などを行う「植木寺子屋事業」が10月から始まりました。次代を担う小学生たちに地域の魅力を再発見してもらい、技術や伝統の継承につなげるのが狙いです。

すでに2年前から寺子屋事業を独自に行っていた山本校区や、地元商工会が視察に訪れた大分県豊後高田市の取り組みを参考に、今年4月から準備が進められてきました。

現在、植木地域には8つの校区と1つの地区がありますが、本年度から来年度にかけて各地域が、それぞれの特色を生かした体験学習や講演会などを実施する予定です。例えば、地域の歴史に詳しい人や伝統料理が得意な人が子どもたちに教えるほか、地域内の企業見学、退職した教職員による各教科の学習などです。

子どもたちが将来、地元に残るための〝意識づけ〟も

こうした寺子屋事業は、学校教育以外で子どもたちが集い、体験し、学ぶ場を提供するだけでなく、（寺子屋を実施する）放課後や夏休みなどに大人が子どもたちを見守り、世代間交流ができる場にもなります。

また、地元に伝わる歴史や伝統を知ることで、子どもたちの地域への愛着が増したり、植木地域内の企業への関心が高まったりして、将来的に地元就職に結び付くなどの効果も期待されています。

植木まちセンも、「同事業の運営委員会のメンバーに加わり、サポートを行うことにしています」（地域担当職員・古田さん）。

植木寺子屋 山本塾
各校区（地区）の寺子屋に掲げられる看板（写真は山本校区のもの）

「寺子屋事業」って何？

学校の放課後などを活用し、地域ぐるみで子どもの学習や教育をサポートする事業。地域住民や退職した教員、PTAなどが“先生”となって自身の知識や経験を子どもたちに伝えたり、学習支援を行ったりするほか、体験学習や世代間交流などのプログラムを実施する場合もあります。


放課後を利用して行われている「山本塾」。現在、全校児童の約半分が参加

5人でがっちりスクラムを組んで 植木地域のまちづくりを 応援していきます！


植木まちづくりセンター（写真左から）
田中幸雄さん、原健洋さん
所長 嶋村悦郎さん、古田茂さん、池田美蘭さん

地域のまちづくりを支える自治会役員の高齢化など、市内の地域活動は過渡期にあります。そうした中、山本校区をはじめとする植木地域で取り組む寺子屋事業が、新たな地域の活力を生むきっかけになればと思います！

私も参加しています！


植木地域校区
自治協議会連合会 事務局長
（山本校区自治協議会 会長）境 俊次さん

寺子屋事業を通じて地域の人材発掘や活性化につなげたい！

北区植木町の山本校区では、2015年から地域在住の講師などによる寺子屋「山本塾」を開いています。週1回程度、放課後の約1時間を利用し、地域の歴史、習字、英語などの科目を設け、申し込みをした希望者（全校児童の約5～6割）を対象に実施しています。学校の先生とはひと味違う〝授業〟は、児童たちにも好評です。

今回の植木寺子屋事業は、これを植木地域全体に拡大して行うものです。こうした事業は、校区単体で行われているケースはあっても、地域や市町村全体で取り組んでいるところは少ないと聞きます。今後は、植木での取り組みがきっかけとなって、市全体に広がり、地域の人材の掘り起こしや活性化につながっていけばと期待しています。

わがまち Topics

市内各校区で行われたさまざまなイベントの様子や、これから行われる催しの情報を、まちセンとの関わりなども交えて紹介します。

11/18（土） 地域の新たな文化を創造・発信

【第4回 飽田地区伝統文化・子ども文化祭】

飽田地区自治連合会と飽田まちセンが主催。地域の方々に芸術文化の鑑賞と発表の場を提供し、地域の文化活動の活性化を図ります。会場／飽田まちセン（飽田公民館）　時間／9時～13時

㊐飽田まちづくりセンター
☎096(227)1112

11/19（日） スポーツで爽快な汗を流そう！

【あさひば市民のつどい】

秋津まちセンが管轄する4つの校区（秋津、若葉、桜木、桜木東）の連携と地域の活性化のために実施する、校区対抗のニュースポーツ大会＆体験教室。会場／秋津まちセン一帯　時間／9時～12時30分

㊐秋津まちづくりセンター
☎096(368)2200

11/23（木・祝） 身近なまちをのんびり歩く

【北部東校区ウォークラリー】

北部東地域コミュニティセンターをスタート・ゴールに、同校区内の史跡や坪井川沿いを約6㎞歩くウォークラリー。終了後には、豚汁の振る舞いのほか、ビンゴゲームもあります。時間／9時20分～12時

㊐北部まちづくりセンター
☎096(245)2112

11/23（木・祝） 大地震に見舞われた歴史を劇に

【湯の上ものがたり～今と昔 復興への道】

平安時代中期に地震に見舞われた城南町鰐瀬地区が舞台の昔話を題材にした創作舞踊劇。今も昔も地震に負けず前向きに生きる住民の姿を描きます。会場／くまもと森都心プラザホール　時間／14時～

㊐城南まちづくりセンター
☎0964(28)2260

すばいす取材スタッフが調査！

天明地域って、こんなとこ〟

土壌の特性を生かしたトマト栽培が盛ん！

干拓地で海に近い天明地域は、農業や漁業が盛んです。中でも、トマトは同地域の特産物の一つ。海路口（うじぐち）町でトマト栽培を手掛ける井手謙一さんは、「塩分やミネラルを含む土壌がトマトの栽培に適している」と話します。中玉トマトに加え、ストロベリートマトやミニよりも小さなマイクロトマトも栽培するなど、他の地域との差別化にも工夫を凝らしています。


「ハウス栽培のトマトは10月ごろから収穫がスタートします」と井手さん


井手さんは栽培だけでなく加工品も手掛けています

ハイ！

天明まちづくりセンターです！

熊本市内17カ所のまちづくりセンターを、それぞれのまちセンスタッフ（地域担当職員）が紹介します！

市内一（?）空が広く見える地域！住民に身近な「人が集まる」まちセン


参事 草野理恵さん

天明地域は大部分が干拓地（海抜0ｍ）で、高い建物もほとんどなく、どこまでも平たんな景色が続くので、おそらく「市内一」空が広く見える場所だと思います。現在、地域内には8300人ほどが暮らしていますが、津波や水害に対する住民の防災意識が高いのが特徴です。地域の皆さんが日頃からサロン感覚で（まちセンに）立ち寄ってくださったり、近隣の小中学校の放課後や部活動後には、まちセンが保護者の迎えを待つ子どもたちの集いの場になっていたりと、身近に感じてもらっているのがうれしいですね。



ユーモアあふれる松本浩司さんと、双子のママ草野さんのコンビで4つの校区（中緑、銭塘、奥古閑、川口）を回ります［左写真中央は緒方宏行所長］

お問い合わせ
●熊本市地域政策課 ☎096(328)2031（月～金曜・8:30～17:15）、chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
●植木まちづくりセンター ☎096(272)6966　●天明まちづくりセンター ☎096(223)1117